

つつじ学園の紹介



社会福祉法人 茅ヶ崎市社会福祉事業団

- * **茅ヶ崎市より指定管理を受け運営**
- * つつじ学園(児童発達支援事業・児童発達支援センター)
(日中一時支援事業かめっこ)
- * ふれあい活動ホームあかしあ(生活介護事業)
- * ふれあい活動ホーム第2あかしあ(就労継続支援事業B型)
- * ふれあい活動ホーム赤羽根
(就労移行支援事業、就労継続支援事業B型)
- * **県・市の委託事業**
- * 相談支援センターつみき
(相談支援事業、障害児相談支援事業、計画相談支援事業)
- * **自主事業**
- * あっとほーむ小和田(グループホーム)
- * あっとほーむ松が丘(グループホーム)
- * あっとほーむ高田(グループホーム)

つつじ学園



つつじ学園とは？

- * 児童発達支援事業(ひよこ・ペンぎん組)
…親子通園、週2～3日
- * 児童発達支援センター(あひる組)
…単独通園、週5日

つつじ学園の療育目標

身近面の
自立

社会性を
養う

丈夫な
身体づくり

一日の流れ

親子通園 (児童発達支援事業)	ひよこ組・ ペンギん組
10:00	登園 朝の支度 集まり 音楽遊び リラックス体操 個別機能訓練
11:20	部屋別活動
11:50	給食
13:15	降園

単独通園 (児童発達支援センター)	あひる組
10:00	バス・直接登園 朝の支度 集まり
10:45	部屋別活動
11:45	給食
13:00	部屋別活動
14:00 *金曜日は13:30	降園

活動内容

お子さんの発達の様子に合わせて、楽しみながら成長や発達に必要な機能を育むための活動を行っています。

茅ヶ崎市社会福祉事業団のホームページ【つつじ学園の紹介を見る】にも、活動紹介（動画）がありますので、ご覧ください。

運動あそび

活動例：リトミック、トランポリン、散歩、リズム（音に合わせて、歩く・止まる・後ろ歩き等、様々な身体の動きを経験する活動）



エアートランポリンでは、さまざまな姿勢パターンやリズム、揺れ、動きを経験することができます。

感触・感覚遊び

活動例：小麦粉粘土、パラシュート、新聞紙あそび



パラシュートは、全身で遊ぶことで、五感への刺激が促されます。
感覚的体験をたくさんすることは、聴く・見る・触るといった行為から受け取る、感覚の情報をまとめたり整理したりする脳の働きである「感覚統合」の力を養うことにもつながります。

視聴覚あそび

活動例：紙芝居、ペープサート、パネルシアター

紙芝居



ペープサート



パネルシアター



テレビなどの受け身的な集中とは異なり、お子さんと大人がやりとりをしながら進めていくことで、お子さんの自発的な反応を引き出します。

視知覚遊び

活動例: 追視のおもちゃ、型はめ、コイン入れ、シールはり

追視のおもちゃ (クーゲルバーン)



プットイン



好きな遊びを通して、注目、集中力、手指操作を育てることに繋がります。

スケジュール



一日のスケジュールを視覚的にわかりやすいように、写真カードやイラストでホワイトボード等に提示しています。

給食



この日のメニューは…？

えのき入りつくね、青菜の煮びたし、そうめん汁、手作りゼリーでした。



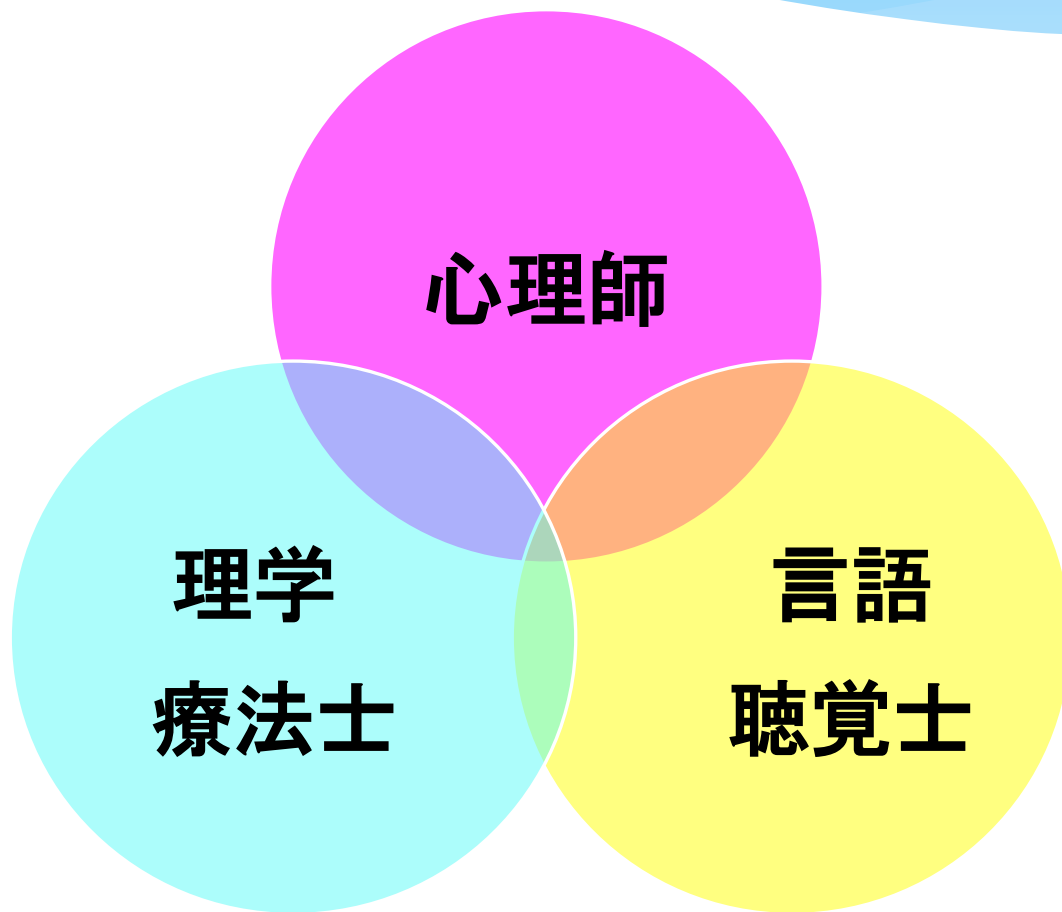
専門指導について

つつじ学園では、お子さんの発達を促すために、生活習慣の他に、心理師・言語聴覚士・理学療法士による指導を実施しています。

職員・保護者・クラス担当と共に三者で統一した目標を持ちながら、より良い関わりを見出していくことを目的としています。

お子さんとの関わり方や毎日の生活の中で気になること、困っていること等、子育てに関する悩みについて相談援助を行っています。

專門指導



心理師

お子さんの興味関心や特性に合わせた遊び・課題を通して、全体的な発達をみていきます。

また、保護者の方と具体的な関わりについてご一緒に考えていくお手伝いをしていきます。

言語聴覚士(ST)

コミュニケーションには、聴く力、見る力、理解する力、運動、人との関係性等、様々な要素が相互的に関係しています。

言語聴覚士は関わりを通して、各側面へのアプローチを行い、お子さんの持てる力を伸ばすようお手伝いをします。また、個々のお子さんに合ったコミュニケーションの方法を探っていきます。

理学療法士(PT)

お子さんの成長や発達に合わせて、
「座り方や立ち上がり方」の姿勢や、寝た姿勢～寝返り～起き上がり～四つ這い～座る～立つ～歩行（移動）等、基本的な身体の使い方や運動発達をすすめます。

また、普段の生活や園での活動場面で活かせるように、様々な活動や遊びを通して、身体の使い方や姿勢、動作等の援助を行います。

大切にしていること

1. 環境を整える

取り組むときは、目的に気持ちに向かいやすいように、使うものや周囲の環境を整理します。

例えば・・・

- ・使うものだけを置く
 - ・布をかけて色々な物が見えないようにする
 - ・掲示物は少なくする
- など

いつも上手くいかない場面も環境を見直してみると、成功体験に繋がる場合があります。

2. 見通しを持てるようにする

始まりと終わりの区切りを分かりやすく伝えることで、今は何をしているのか、次は何をするのかなど、理解しながら行動することに繋がります。

例えば・・・

- ・おしまいの声かけをする
- ・終わりのジェスチャーを見せる
- ・空の箱に片付ける
- ・タイマーの使用
- ・時計の針で終わりの時間を決めるなど



とけいのはりが、「2」でおしまいです。



タイムタイマー

時間の経過が色で示されるので、見て分かりやすい。

くり返し経験を重ねると、見通しをもって、主体的に物事に取り組む力に繋がります。

3. 伝え方の工夫をする①

伝えるタイミングを工夫することで、より伝わりやすくなります。

例えば・・・

- ・正面から、伝える
- ・好きな話をしてから、伝える
- ・身体に触れてから、伝える
- ・名前を呼んでから、伝える
- ・手を止めてから、伝える

など

3. 伝え方の工夫をする②

見てわかりやすく伝えます。

例えば・・・

- ・実物
- ・ジェスチャー
- ・写真
- ・絵を見せる
など



【写真カード】

移動先の場所・人を示したり、
そこで何をするかを伝え、見通
しが持てるようにします。

言葉は抽象的で曖昧だったり、すぐに消えてしまいがちですが、見て分かると、具体的でわかりやすく、消えません♪わかるやりとりを重ねることで、相手に気持ち向き、相手の思いをわかろうとする力に繋がります。

4. 得意なところに目を向ける

どのお子さんも好きなことや得意なことがたくさんあります。

- ・褒めること
- ・一緒に楽しむこと
- ・周りの人が喜ぶこと

などが、お子さんの喜びと“やってみよう”という原動力に繋がります。小さな成功を大切にしています。

例えば・・・

- ・楽しめた
- ・興味を持った
- ・取り組もうとした
- ・やってみた など



5. お子さんの目線で考える

お子さんの目線に立って考えると、お子さんの気持ちや困りが見えてきます。そして、上手にできる工夫も見つかります。

目に見える行動にとらわれず、お子さんの気持ちを理解して、共感や寄り添うことを大切にしています。

また、必要な関わりや工夫をすることで、人との信頼関係や安心感を持てるようにしています。

最後に・・・

幼児期は、成長の基盤を作る大切な時期です。一人ひとりのお子さんが、それぞれのペースや個性を大切にして、自分らしく、輝きながら過ごしていけるよう、ご家庭との連携も大切にしています。

お子さん一人ひとりの心の安定や、様々な挑戦、成功体験を見守り、応援し、「やってみたい!」「やってみよう!」「もう一回!」の気持ちを大切に育んでいきたいと思っています。

つつじ学園の内容や入園に関する事、ご質問がございましたら、つつじ学園まで、ご連絡ください。

